



# 浜小だより

令和6年9月30日

10月号 横浜市立浜小学校  
校長 青木 圭介

《学校教育目標》相手の考えや気持ちを大切にし、互いに高め合う浜の子

## 遠足や校外学習でできる体験や思い出

副校長 遠藤 義臣

蝨虫坏戸(むしかくれてとをふさぐ)季節となりました。この『蝨虫坏戸』は一年を七十二節に分けて表している季節候です。約5日間の間隔で表されているため、季節の移ろいを子細に示すことができます。意味は、朝夕が涼しく過ごしやすくなり、これからくる冬に備えて、虫たちが戸をふさぐように、冬ごもりの準備を始める頃だそうです。確かに先週ぐらいから永遠に続くのかと思うような夏の暑さがうそのように、朝夕が涼しく感じる日が多くなってきました。

さて9月12日に2年生の遠足に行ってきました。場所は野毛山動物園でした。子どもたちはいつもの授業とは違い、様々な体験をしたことでしょう。例えばグループで動物を見て回る体験、動物園の獣医さんからお話を聞く体験、駅まで団体行動で歩く体験などです。その体験を通して学習をしています。

また、体験とは別に思い出づくりも行っています。一緒に電車に乗った思い出、少しけんかっぽくなったけど仲直りした思い出など、その時にしかできない思い出をたくさんしてきたと思います。そのように校外学習や遠足は、体験と思い出がどちらもできる、とても貴重な行事の一つだと思います。



私は2年生のみんなと遠足に行き、屏風浦駅まで暑い中、一緒に歩いたこと、電車の中では静かにしましょうと注意して、みんながちゃんと静かにしたこと、「そのお弁当は美味しそう」と先生や子どもたちのお弁当を一緒に見せ合っことなど、子どもたちと過ごした時間は何事にも代えられない思い出になっています。

他の学年も10月、11月は校外に出かけ、たくさんの体験や思い出が作られることでしょう。ぜひ、帰ってきた後、お子様から色々なお話を聞いてください。

私は2年生と一緒にいき、たくさん子どもたちとお話をして、とても楽しかったです。